

## 平成 29 年度 第 45 回 千葉県中学校バスケットボール選手権大会 総評

千葉県バスケットボール協会主催の第 45 回千葉県中学校バスケットボール選手権大会は 6 月 3, 4, 10, 11 日の 4 日間、館山運動公園体育館をメイン会場に行われた。全 56 チームがトーナメントを競う大規模大会である。各地区のより多くの選手たちの活躍が見られる注目大会となっている。

男子は、新人戦でベスト 4 に残ったシード校の成田西中（印旛）、草野中（千葉）に加え、激戦区船橋で新人戦の県王者船橋中を破った習志野台中（船橋）、新人戦ベスト 8 から、今回シード校を破り勝ち上がってきた松戸一中（松戸）が四強に名を連ねた。

男子準決勝の習志野台中対松戸一中は、終始一進一退の攻防が続くも、習志野台中は④天野、⑥楚良、⑦野上の活躍で得点、対する松戸一中は⑧山崎のゴール下や 3 P を中心に得点。終盤リードした松戸一中が決勝進出を決めた。もう一方の成田西中対草野中は、新人戦の準決勝と同じカード。新人戦でも 3 点差の接戦で今回も同様の展開。成田西中は④岡戸を中心に果敢に攻める。終盤、草野中⑩大橋の 3 P で勢いの乗った草野中が、そのまま逃げ切り決勝進出を決めた。

男子決勝は、松戸一中と、草野中との対戦。試合開始直後、草野中は④百目木、⑩大橋を中心に得点を重ねる。一方、松戸一中は、2 年生のエース⑧山崎を中心に攻める。

後半、松戸一中は全員でリバウンドを取りに行きはじめ、流れを引き寄せ、速い展開から得点で草野中に 1 桁得点差まで詰め寄る。対する草野中も、力強いドライブからのレイアップシュートをよく決めて引き離す。

4 Q、松戸一中は、一生懸命にボールを追いかけ、ルーズボールに飛びつくなど粘りを見せる。草野中も、ゴール下、3 P、1on1 など多彩なバスケットでバランスよく得点を重ね、松戸一中を圧倒し始める。点差が開き始めたところで試合終了。草野中が大会初優勝を決めた。

女子のベスト 4 には、県内の連勝記録を更新中の昭和学院中（市川・浦安）を筆頭に、新人戦ベスト 4 の市川八中（市川・浦安）と八街南中（印旛）、そして昭和学院中に地区予選決勝で敗れ、リベンジを狙う市川三中（市川・浦安）が名を連ねた。今回も昨年同様にバスケットボールの激戦区である市川・浦安地区から 3 チームがベスト 4 に勝ち上がる展開となった。

女子準決勝の昭和学院中対八街南中。八街南中は、⑫三須のドライブや⑭鈴木の 3 P シュートで果敢に挑戦するも、昭和学院中が、終始激しいディフェンスと安定した試合運びを見せ、決勝進出を決めた。市川三中対市川八中の対戦では、市川八中は⑤保坂、⑥廣瀬を中心に得点し前半はリードする。後半、市川三中は④木内、⑨木戸の活躍により逆転。市川三中が決勝に進出した。

市川・浦安地区の決勝戦と同一カードとなった女子決勝。昭和学院中は⑥大城のドライブや⑦花島の高さを生かしたプレーで得点を重ねる。一方、市川三中は昭和学院中の堅いディフェンスに苦しみ、リズムをつかめない。高さが気になりシュートが落ちてしまう。

後半、互いに点を取り合う展開になるも、昭和学院中は 2on2 やハイローのポストプレイを中心にリード。対する市川三中は、果敢にゴールに向かうプレーでリズムをつかみ、スクリーンなどを巧みに使ってチャンスを作っていく。しかしながらリードが埋まらずそのまま試合終了。昭和学院中が 8 年連続 19 回目の選手権大会優勝を決めた。

今大会は、安房地区のバスケットボールにかかわる多くの方々に支えられ、無事終わることができた。改めて、安房地区のバスケットボール熱の高さを感じた。暑い日差しが注ぐ中、生徒役員という形で駐車場係、TO、接待などを意欲的に取り組んでくれた開催地のバスケットボール部の生徒たちに、連盟一同、感謝申し上げたい。

男子 優勝 千葉市立草野中学校  
準優勝 松戸市立第一中学校  
第 3 位 船橋市立習志野台中学校 成田市立西中学校

女子 優勝 昭和学院中学校  
準優勝 市川市立第三中学校  
第 3 位 市川市立第八中学校 八街市立八街南中学校